

**自立支援センター運営委員会報告**

【11月12月報告】11月14日(土)

12月19日(土)

・年末年始業務について

仕事納め12月28日(月)17時まで。

年末年始休業12月29日～1月3日

仕事始め1月4日(月)

・職業委託訓練 第二期が終わり、第三期は1月4日より始まる。

ハローワークへのPRに力をいれる。

・2016年度予算・事業計画は2月の運営委員会で審議する

各部会は1月20日までに事務局へ提出

・リフレッシュ氷川の利用が制限されたことから、センターまつりのあり方も含み、ワンコイン企画やセンター2階の交流企画について今後検討をする。

・特別講演会第4弾2月20日(土)河合祐三子氏 1,000円 申込み自立支援センターへ

・耳の日記念文化祭(3月5日～6日)への出店

模擬店とバザー

・運営委員の出席が少ないので、来年度は各構成団体から出席できる人を推薦するよう申し出た。

次回運営委員会は1月9日(土)10～12時

(文責 高田・杉石)

**一日研修会 申し込み受付中!**

1月17日(日) 会場: 日大 文理学部3号館3205教室

○午前の部: 10:00～12:00

テーマ「ろう運動の必要性と手話サークルへの期待」

講師 全日本ろうあ連盟 久松 三二氏

【事務局長からのお勧めコメント】

障害者権利条約が採択され、国内の障害者関係の法律を権利条約の考え方に合わせ改正する必要性が生じ、国に制度改革推進会議が発足。聴覚障害者の立場でその会議に加わったのが久松氏です。障害に対する国際的な考え方、日本の現状、これからのろう運動の方向性などを知り、今後、都サ連がろう運動にどう関わっていったらよいかを考えるヒントを皆で見つけましょう。

○午後の部: 12:30～15:30

テーマ「わたしの生き立ち」

講師 薬剤師 昭和大学病院勤務 早瀬 久美氏

【事務局長からのお勧めコメント】

昨年は、ご主人の憲太郎氏に健聴のお母さまとの関わりをお話し頂き、彼の明るさ、芸術的感性、モノの見方などは、ユニークでバイタリティー溢れるお母さまの影響大ということが分かりました。この早瀬家に嫁ぎ、子供の頃からの夢を貫きながらご家庭とお仕事を両立され、またスポーツなど多方面で活動していらっしゃる久美さんに、お話しをお聞きします。あなたもきっと元気をもらえますよ。

&lt;申込・問合せ先&gt; E-mail: kensyu\_2016@ybb.ne.jp

FAX(専用): 03-3961-2445

※参加費は、加盟サークル関係者は、当日「一括払い」

その他の方は、事前「振込」です。詳しくは都サ連HP

をご覧ください。

(文責: 事務局長 河野)

**広報班 大学祭訪問記**

今年も、連絡の取れている大学生手話サークルから大学祭等での発表の案内を多数いただきました。

時間的な都合で加盟サークルへお知らせできなかったものもいくつかありましたが、締めて15団体、ほぼ全ての発表に広報班として訪問を兼ねた挨拶回りをしてきました。

発表をじっくり観てみると、どの団体も大学祭という目標のために一丸となって工夫し練習してきた成果がよく見て捉えられ、それぞれの団体の個性と相まって、様々なエネルギーを分けてもらえる様な活気がありました。発表の内容は、手話劇や手話朗読、手話に関連する物事の展示、発表の鑑賞も交流もできる喫茶店など様々で、また大学祭とは別に発表会をわざわざ企画している団体もありました。

発表のなかで一番多かったのは「手話歌」でした。「やはり健聴者の文化だな～」というもどかしさを感じながらも思い切って健聴者視点に偏向して見てみると確かに、手話を知らない健聴者でも取っ付き易く、また手話に触れ始めたばかりでも楽しみながら取り組める要素や難易度もあり、大学祭での発表には打って付けの題材のようでした。

こういった発表の場は、我々が学生さんの実情を知れる貴重な機会でもあり、逆に見れば我々のことを知ってもらう糸口のひとつでもあります。

来年も学生さん達から案内をいただければまたお知らせしますので、みなさまもどうぞぜひ「若者に持ってほしい視野の広さ」と同じくらいの広さの視野をもって足を運んでみてください。(文責 広報班 大木)